

磐城時報

日六十月
編輯人 岡田 弘 成
印刷所 磐城印刷局
發行所 磐城印刷局
電話 二二二
廣告料 一行一四角五分
訂金 一月一元二角五分
半年六元五角
一年十二元
休刊日 日曜、祭日

平驛 改築

土盛りをした上總二階建 工費十二萬圓 九月頃着工

平驛は一ヶ年を通じ約二百三十人は入遠野、豊間、江名、小名濱萬人の乗降客を吞吐し近年益々湯本、内郷、赤井、三阪、澤渡狹隘を感じ之が改築案につき昨年本省に申請し當時本省より係官來平實地踏査を重ね目下調査中であるが、来る六月中旬には改築の指令がある模様なので指合あり次第九月頃着工の見込みである、而して現在平驛の敷地は鐵道線路より約三尺低き爲め幾多の危険と弊害を伴ふので土盛り工の必要もあり總工費約十二萬圓に達する見込みで倉庫は總二階建にして待合室の擴張を計る筈である。

特別税戸數割

一月平均額

澤渡村が最高
石城郡町村長會支會でこの程調成れる仙臺石城郷友會は明治三に達し居るも其後この財産は便宜上石城郡所有となし居り續いて戦死し目下平町に銅像となつて郡役所廢止と共に此財産は縣となり最高澤渡、三阪組合の澤居る大越中佐等が主唱のもとに所有となつた爲め石城郡選出の渡村三十一圓十三錢、太浦村の活動を續け居り殊に日露戰役當縣會議員若松美三、平町長伏見三十圓五十二錢七厘が主なるも時には出征軍人の爲めあらゆる彦衛、泉村長中村立助の諸氏が最低は大野村の十二圓三十二錢六厘であるが平町の如きは現在財産として銀行預金二萬圓をの中間にありし二十圓五十錢現金四十五圓十錢、宅地五萬六千六百六十圓、石城郡地方に於ける麥作は目下出穂期で發育状態も頗る順調を等て十數件の詐欺、窃盜を働いたので更に聞き質さうとする強盜の犯罪がある見込みであり平署からも猪狩刑事等應援にである。

在仙石城郷友會を 愈々財團法人にする

伏見、中村、若松各氏上京し 内務大臣に認可出願

石城郡立身の仙臺市居住者より合計六萬五百六十六圓六十錢の多額なる仙臺石城郷友會は明治三に達し居るも其後この財産は便宜上石城郡所有となし居り續いて戦死し目下平町に銅像となつて郡役所廢止と共に此財産は縣となり最高澤渡、三阪組合の澤居る大越中佐等が主唱のもとに所有となつた爲め石城郡選出の渡村三十一圓十三錢、太浦村の活動を續け居り殊に日露戰役當縣會議員若松美三、平町長伏見三十圓五十二錢七厘が主なるも時には出征軍人の爲めあらゆる彦衛、泉村長中村立助の諸氏が最低は大野村の十二圓三十二錢六厘であるが平町の如きは現在財産として銀行預金二萬圓をの中間にありし二十圓五十錢現金四十五圓十錢、宅地五萬六千六百六十圓、石城郡地方に於ける麥作は目下出穂期で發育状態も頗る順調を等て十數件の詐欺、窃盜を働いたので更に聞き質さうとする強盜の犯罪がある見込みであり平署からも猪狩刑事等應援にである。

關東北庭球大會 來月平町に開く

優勝組に優勝旗を贈る

毎年石城郡で行はれてゐた平俱左記の如く此平均草丈三寸七分、關東北庭球大會、磐城炭礦主増し分業も二三分増加してゐる。大會、三庭球大會は今回合併の増収を見込まれてゐる。平町五丁目生れ當時住所不定無職前科三犯石川文四郎(三〇)は去る一月水戸刑務所を出獄した。後平地方に入り込み自動車運轉してゐるのを警邏中の新井巡査と稱し宮城縣方面で土工を働いたのが発見取調された。短刀が現はれてゐたので左の指一本なくして更に聞き質さうとする強盜の犯罪がある見込みであり平署からも猪狩刑事等應援にである。

田町の小火の原因

子供が煙草をすつた爲

十五日午後五時頃平町新田町料既に十五日現在で死亡率四分の理店金榮事菊地さん(二〇)方が一弱を示し九名に達してゐるが、若松市に移轉された關係から更に郷友俱樂部を若松市に二萬餘圓を投じて建設する筈であるが、原因は平署で取調べた處、同家の子供(十二)が煙草を吸つた火から發火したものである。

本年のチブス 死亡率二割五分

今春に至り猖獗を極めた平町の腸チブスは極めて悪性のもので

納税組合の 増設を懇願

平稅務署管内三十四ヶ町村の納稅組合數は五百四十組合で人員九千九百五十六人、千戸に對し二百二十六人の割合でまだ、増設の見込みがあるため組合設置を懇願する方針がある。

平職業紹介所 所員増員

平町の職業紹介所は逐年成績を本署長は十五日この旨平署に告げ地方の會社、商店等の求人訴した。

短刀を持つてゐる男

白晝巡査と格闘 重大犯人らしい

十六日午前十一時平町郡役所前來り遂に逮捕し取調中である。この男は丸山左一郎(三二)を暴動不審の乞食体の男が徘徊が、この男は丸山左一郎(三二)が発見取調された。短刀が現はれてゐたので左の指一本なくして更に聞き質さうとする強盜の犯罪がある見込みであり平署からも猪狩刑事等應援にである。

驚いた!!!

汽車を止めた女 平署に告訴さる

鐵橋を渡り 平署に告訴さる

警務村大字西郷字落合小泉(五五)は去る八日午前十一時九分湯本、泉間藤原川鐵橋を通行中仙臺發上野行第二二二號客車が進行し來り機關手は危険と認め三分間停車したが、渡邊湯

飲食店の 花柳病患者

一ヶ月五十八人位
平警察署管内各町村に於ける花柳病患者、酌婦、水仕其他の接客營業者の保健問題については警察當局が種々と注意を促した結果平町を始め各町村には保健組合が組織され一月一回乃至三回位の割合で健康診断を履行してゐるの最近では病者豫防上相當の成績を納めてゐる、四月中に於ける診断の状況を見ると同署管内九百七十三名の中検査を受けた者は

御料理 一の井

は藝妓百十三名、酌婦三百三十六名、水仕その他雇婦百九十八名、合計六百四十七名で検査の結果病者所有者は藝妓五名、酌婦十八名、その他十名、何れも梅毒であるがこの外有毒者として營業を停止し治療を命ぜられた者は五名、合計三十三名であるが平地方には一ヶ月三十名以上の病者所有者が発見され全治しないうちに新に患者が出るので結局一ヶ月五十名位營業を休んでゐる病者所有者がある譯である。

鼻の薬「チクノール」
平五 山野邊藥局

乳房で 子供を殺す

泉村字流尻生れ當時内郷村大字白水字廣畑居住加納炭礦維夫佐瀬あさ(二五)は十五日午後八時から翌朝三時半までの間四男(雄一)を添寝中乳房で鼻口を押し窒息死せしめた。

牛豚肉特價

牛中肉	百匁	金三十三
牛上肉	同	金五十五
豚口肉	同	金七十七
豚中肉	同	金九十九
豚上肉	同	金四十五
肉	同	金六十五
肉	同	金三十五
肉	同	金四十五
肉	同	金六十五

平町停車場前(平劇場入口)
廉賣王 深谷牛肉店
電話五二四番

小學生
通學服特價賣出し
七八才用 一圓十錢
十才用 一圓二十錢
十三才用 一圓三十錢

女學用白洋傘
タツク入 一圓三十錢
タツク入 一圓三十五錢
ヘリス付上 一圓四十五錢
ヘリス付上 一圓九十錢

列由ニシテ御覽
有御覽
マナニ
カスラ
ラカス
ラカス
御スマ

店商ヤルツに
【番十四百話電】町平



支那六神丸
特約店 平町五丁目 山野邊藥局

石炭「コークス」
煙ノ少ナイ夏向キノ理想的石炭ト「コークス」
灰ノ少ナイ夏向キノ理想的石炭ト「コークス」
物ハ試メシ一俵御使へ下サイ
品質本位バ當店ノ信條デス
石炭 正味十貫目 金六十五錢
平驛前 阿部石炭商店
電話二二七番へ直グ配達致シマス

産婆開業

東京帝國大學醫學部
産婆復習科卒業
草野靜枝
平町研町九番地(公園下)
電話(呼)四四三番

赤心堂病院

産科、婦人科部主任トシテ
醫學士野秋善直新任ス
平町字田町(電話四七五)

外科、耳鼻科、泌尿科
主任 新妻由五郎
主任 野秋善直
主任 小林四郎
主任 木下寅市

産科、婦人科
主任 野秋善直
主任 小林四郎
主任 木下寅市

内 科
主任 野秋善直
主任 小林四郎
主任 木下寅市

X光線科、藥局
主任 木下寅市

治淋 新劑
強アチゴ
急性淋病、慢性淋病、消渴、膀胱炎等ニ用ヒテ
偉大ノ卓効ヲ奏ス
平町一丁目
特約販賣店 大平屋藥店
電話六四二番

診療開始

外科 花柳病科 専門

平町六丁目橋際
木村外科醫院

セメント 磐城セメント株式會社
壁用材料 代理店 西村屋藥舖
コルタール
ペンキ塗料
板ガラス
平町二丁目
電話三番

耳鼻咽喉科 専門

平町仲田町七一
新築 場所 合津醫院
電話五五九番

二葉印刷所

平町字仲田町
電話七三四番

滋養、強壯劑として愈々好評
偉大なる藥酒「栗守酒」
朝の一盃は精力の根柢、晩の一盃は休眠の助力
栗守酒特約店 大平屋藥店
代價八日分壹圓九十錢 平町一丁目 電話六四二番